

資 料

資料 1: 「サッカー選手のキャリア移行に関する調査」の依頼書 -----	245
資料 2: 「サッカー選手のキャリア移行に関する調査」の実施要項 -----	246
資料 3: 「移籍に関する調査」の記入用紙 -----	255
資料 4: 「引退に関する調査」の記入用紙 -----	256
資料 5: 「サッカー選手のキャリア移行に関する調査」 -----	257
資料 6: 元プロサッカー選手に対する面接のマニュアル -----	264
資料 7: 「元学生アスリートの競技引退に関する意識調査」 -----	268
資料 8: 「元学生アスリートの競技引退に関する意識調査」の結果(SCT) -	271
資料 9: 元エリートアマチュアアスリートに対する面接のマニュアル ----	285
資料 10: 元オリンピック選手に対する面接のマニュアル -----	289

資料 1: 「サッカー選手のキャリア移行に関する調査」の依頼書

平成9年5月20日

Jリーグ・JFL所属チーム関係者 各位

筑波大学 体育科学研究科 豊田 則成
筑波大学 体育科学系 助教授 中込 四郎
(研究代表連絡先)
〒305 茨城県つくば市天王台 1-1-1
筑波大学体育科学系
tel 0298-53-2686/fax 0298-53-6507 (代表)

「サッカー選手のキャリア移行に関する調査」に御協力をお願い申し上げます。

拝啓 薫風の候、Jリーグ及びJFL所属チーム関係者におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、筑波大学大学院修士課程体育研究科におけるJFL・Jリーグプロフェッショナルスポーツ・コーチ論寄附講座の設置に伴う研究助成により、JリーグとJFLに所属する競技者及び引退競技者を対象として、キャリア移行(引退、移籍)に関連して生起する心理的問題についての調査研究を企画いたしました。その一貫といたしまして、研究計画書(別紙参照)に示す調査を実施したいと考えております。

つきましては、以下に示す内容を御検討いただき、本調査への御協力を要請いたします。

- 一、 調査対象となりますのは、JリーグとJFLに所属する現役選手、並びに、かつてJリーグやJFLに所属するプレーヤーであった経歴を有する各チームのコーチングスタッフであります。更に、各チームのフロントを対象とする実態調査を実施いたします。
- 一、 調査実施要請に対して御快諾いただきましたチームは、**6月10日火曜日**までに、返信用ハガキ(研究計画と共に配布いたします)を研究代表者(筑波大学体育科学系 中込四郎)宛に郵送してください。返信用ハガキに明記していただきます内容は、調査実施担当者氏名、及び、質問紙等を郵送する連絡先のご住所とお電話番号、調査対象となる各チーム所属の現役選手とコーチングスタッフの正確な人数です。
- 一、 調査実施においては、各チーム1人の調査実施担当者を配置していただき、調査全般の運営を一括していただきたいと考えております。(調査実施内容については、研究計画書の資料:調査実施要項を御参照下さい)
- 一、 上記の返信用ハガキが研究代表者に届き次第、調査実施内容(調査実施要項と質問紙等)をこちらから郵送いたします。(調査期間は約1週間程度です)
- 一、 豊田(筑波大学体育科学研究科)が調査依頼者側の窓口を担当しております。不明な点や疑問点などは、御遠慮なく申し付け下さい。(連絡先:研究代表者と同じ tel 0298-53-2768 体育心理学研究室)

本研究の趣旨を御理解いただき、本調査への御協力の程、何卒よろしく申し上げます。

敬具

資料 2：「サッカー選手のキャリア移行に関する調査」の実施要項

サッカー選手のキャリア移行に関する調査

= 調査実施要項 =

=目次=	
はじめに	1
移籍に関する調査 記入上の注意	2
引退に関する調査 記入上の注意	4
質問紙調査 実施手引き	6

依頼者（所属）：豊田則成（筑波大学 体育科学研究科）

〒305 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学 体育科学系 A417

tel 0298-53-2786 fax 0298-53-6507

はじめに

この度は、「サッカー選手のキャリア移行に関する調査」に御協力いただき、誠に有り難うございます。また、調査実施担当者各位におかれましては、お忙しい中、お手数をおかけし、誠に申し訳ありません。

本調査は、Jリーグ及び日本サッカー協会による奨学寄付金を受け、平成8年度 筑波大学体育科学研究科プロフェッショナルスポーツ研究助成の一貫として実施されるものであります。御協力いただきました調査資料は、今後、Jリーグ及び日本サッカー協会、更には、日本のスポーツ競技界の発展に対して充分活用させていただきたいと考えております。

調査を実施するにあたり、お手数をおかけすることと存じますが、何卒、本調査の主旨を御理解いただき、御協力の程、宜しくお願い申し上げます。

本調査は、以下に示される調査項目を実施いたします。

①チーム・フロントを対象とした「移籍に関する調査」 及び 「引退に関する調査」

調査実施担当者が「移籍に関する調査 記入上の注意」(p.2-3)と「引退に関する調査 記入上の注意」(p.4-5)に従い、「移籍に関する調査 記入用紙」(別紙)と「引退に関する調査 記入用紙」(別紙)にそれぞれ御記入下さい。

②Jリーグ及びJFLに所属する選手及びコーチングスタッフを対象とした「サッカー選手のキャリア移行に関する調査」 及び

「元サッカー選手のキャリア移行に関する調査」

調査実施担当者が、「質問紙調査 実施手引き」(p.6-7)に従い、貴チームに所属するサッカー選手と元サッカー選手であるコーチングスタッフに実施して下さい。くれぐれも記入もれのないよう御配慮願います。

③フロント・現役選手・球団関係者を対象とした

『「引退選手」の面接調査への御協力をお願いします！』

調査実施担当者が、貴チームにかつて在籍し、既に現役引退している元サッカー選手の連絡先を、「引退競技者リスト」(別紙)にわかる範囲で結構ですから御記入下さい。

注) 尚、調査実施終了後、返却用封筒に調査実施内容を入れ、

10月20日月曜日までに、御返送願います。

【移籍に関する調査 記入上の注意】

移籍に関する調査は、以下の方法に従って、移籍に関する調査 記入用紙に記入もれないように御記入ください。（記入用紙は別紙4枚あります）

平成5～平成8年度の各シーズン末までに自チームから移籍していった選手について、

①～⑥の質問項目を設けました。

回答は全て、「移籍に関する調査 記入用紙」に御記入ください。

①氏名

氏名はプライバシー保護のため、イニシャルのみ、もしくは、空欄でも結構です。また、必ず、各年度毎の合計人数を明確に御記入ください。

②移籍時の年齢

移籍していった選手の移籍当時の年齢を御記入ください。

③移籍時の選手地位

移籍していった選手が、移籍に際したときの選手としてのチーム内の位置づけについて、以下に示す選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- 1) レギュラーで主力選手
- 2) レギュラーで主力ではない選手
- 3) 非レギュラー
- 4) 怪我・病気で休養中
- 5) その他 余白に詳細をご記入ください

④在籍年数

移籍していった選手が、自チームに在籍していた年数を御記入ください。

⑤移籍先

移籍していった選手の移籍先について、以下に示した選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- 1) Jリーグに所属するチーム
- 2) JFLに所属するチーム
- 3) アマチュアのチーム
- 4) 海外のチーム
- 5) その他 余白に詳細をご記入ください

⑥移籍先の決定

移籍していった選手の移籍先はどのようにして決定されたのかについて、以下に示した選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- 1) 本人が見つけてきた
- 2) チーム側からの紹介
- 3) 協会関係者からの紹介
- 4) 移籍先からの勧誘
- 5) その他 余白に詳細をご記入ください

⑦移籍の理由

移籍していった選手の移籍の理由を、以下に示した選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- 1) 怪我・病気による競技力低下
- 2) チームメンバーとの人間関係
- 3) スタッフとの不和
- 4) チームの目指す戦術や方針との不一致
- 5) 新たな選手補強による影響
- 6) 契約交渉上の不一致
- 7) その他 余白に詳細をご記入ください

⑧移籍の予期

移籍していった選手が移籍するのが、前もって予期できたか否かについて、以下に示した選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- 1) かなり以前から予期できた
- 2) 移籍決定直前には予期できた
- 3) 全く予期できなかった
- 4) その他 余白に詳細をご記入ください

⑨本人の希望

移籍は本人の希望であったか否かについて、以下に示した選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- 1) 本人の希望
- 2) 本人は希望していなかった
- 3) その他 余白に詳細をご記入ください

⑩本人の納得の程度

移籍について本人の納得の程度を、以下に示した選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- 1) 全く納得していた
- 2) 少し納得していた
- 3) よく分からない
- 4) あまり納得していない
- 5) 全く納得していない

⑪現在の所属

移籍していった選手の現在の所属について、以下に示した選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- 1) 現在分かっている
- 2) 現在分かっている

【引退に関する調査 記入上の注意】

引退に関する調査は、以下の方法に従って、引退に関する調査 記入用紙に記入もれのないように御記入ください。(記入用紙は別紙4枚あります)

平成5～平成8年度の各シーズン末までに自チームから引退していった選手について、①～⑥の質問項目を設けました。

回答は全て、「引退に関する調査 記入用紙」に御記入ください。

①氏名

氏名はプライバシー保護のため、イニシャルのみでも結構です。
また、必ず、各年度毎の合計人数を明確に御記入ください。

②引退時の年齢

引退していった選手の移籍当時の年齢を御記入ください。

③引退時の選手地位

引退していった選手が、引退に際したときの選手としてのチーム内の位置づけについて、以下に示す選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1) レギュラーで主力選手 | 3) 非レギュラー |
| 2) レギュラーで主力ではない選手 | 4) 怪我・病気で休養中 |
| 5) その他 | 余白に詳細をご記入ください |

④在籍年数

引退していった選手が、自チームに在籍していた年数を御記入ください。

⑤引退の理由

引退していった選手の引退の理由を、以下に示した選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1) 怪我・病気による競技力低下 | 7) 契約交渉上の不一致 |
| 2) 体力低下(加齢)による競技力低下 | 8) 目標の達成による満足感 |
| 3) チームメンバーとの人間関係 | 9) 家族の問題 |
| 4) スタッフとの不和 | 10) わからない |
| 5) チームの目指す戦術や方針との不一致 | 11) その他 |
| 6) 新たな選手補強による影響 | |

⑥引退の予期

引退していった選手が引退を、前もって予期できたか否かについて、以下に示した選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1) かなり以前から予期できた | 2) 本人が申請する直前には予期できていた |
| 3) 全く予期できなかった | 4) その他 余白に詳細をご記入ください |

⑦引退後の決定

引退時に引退後の行き先が決定されていたかどうかについて、以下に示した選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- 1) 既に決定されていた
- 2) まだ決定されていなかった
- 3) よく分からない

⑧本人からの希望

引退は本人の希望であったか否かについて、以下に示した選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- 1) 本人の希望
- 2) 本人は希望していなかった
- 3) その他 余白に詳細をご記入ください

⑨本人の納得の程度

引退するにあたっての本人の納得の程度について、以下に示した選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- 1) 全く納得していた
- 2) 少し納得していた
- 3) よく分からない
- 4) あまり納得していない
- 5) 全く納得していない

⑩移籍経験の有無

引退していった選手が自チームに来るまでに移籍の体験があったか否かについて、以下に示した選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- 1) 移籍経験 1 回あり
- 2) 移籍経験 2 回あり
- 3) 移籍経験 3 回あり
- 4) 移籍体験 4 回以上あり
- 5) 移籍経験なし

⑪現在の所属

引退していった選手の現在の所属について、以下に示した選択肢から合致するものを選び、その番号を御記入ください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1) 自チームのコーチ | 6) 自チームの球団事務 |
| 2) 自チームのユースのコーチ | 7) 他チームの球団事務 |
| 3) 他チームのコーチ | 8) 日本サッカー協会関係者 |
| 4) 他チームのユースのコーチ | 9) 消息不明 |
| 5) 上述以外のところで指導している | 10) その他 |
- 余白に詳細をご記入ください

【質問紙調査 実施手引き】

「サッカー選手のキャリア移行に関する調査」は以下の手続に従って実施してください。また、「元サッカー選手のキャリア移行に関する調査」は元サッカー選手であるコーチングスタッフに対して、個別に対応し実施して下さい。

①質問紙実施を開始する前に・・・

手続：その1

現役サッカー選手に対する質問紙調査は集合法を用い、被験者に対して一斉に実施して下さい。元サッカー選手（コーチングスタッフ、その他）に対する質問紙調査は、質問紙を各自に配布し、任意に実施して下さい。

手続：その2

本質問紙調査は、調査実施担当者が各質問項目を読み上げ、それに従って被験者が記入するという方法（強制測度法）で実施して下さい。質問紙実施に要する時間は約20～30分です。

手続：その3

調査実施担当者は、被験者が各質問項目に対して回答する時間を任意に設定して下さい。

②質問紙実施について御説明いたします。

手続：その4

氏名欄はプライバシー保護のため無記名でも結構ですが、年齢・生年月日・既婚未婚・最終学歴の欄に記入もれのないよう指示して下さい。

手続：その5

サッカー競技継続年数欄はサッカーを始めて何年何カ月になるのかを明記するよう指示して下さい。

手続：その6

所属チーム名を明記し、Jリーグ所属及びJFL所属を明白にして下さい。アマチュア所属であれば、所属チーム名のみで結構です。

手続：その7

現在の所属チームへの所属年数を明記するよう指示して下さい。

手続：その 8

移籍経験についての質問項目は、移籍の時期を明記し、該当する移籍の型式欄に、上述の「移籍の理由」の中から該当するものを選択し、その番号を記入するよう指示して下さい。

手続：その 9

質問紙〈その 2〉は、設問を読み上げ、被験者が回答できる適度な時間を設定し、実施して下さい。くれぐれも記入もれのないよう御配慮下さい。

手続：その 10

質問紙〈その 3〉も質問紙〈その 2〉と同様に、設問を読み上げ、被験者が回答できる適度な時間を設定し、実施して下さい。くれぐれも記入もれのないよう御配慮下さい。

手続：その 11

質問紙〈その 4〉は、設定された文章（刺激項目）を完成するように指示して下さい。被験者が回答する時間は、調査実施担当者が任意に決定して下さい。くれぐれも記入もれのないよう御配慮下さい。

手続：その 12

質問紙〈その 5〉は、自由記述になります。
各質問項目について記入もれのないように御配慮いただき、本調査について気づいた点などを明記するよう指示して下さい。また、本調査について感心を持たれた方には、連絡先を御記入いただきますように指示をして下さい。こちらから直接、御連絡したいと考えています。

③その他、御配慮いただく点について御説明いたします。

手続：その 13

調査実施担当者は、被験者からの疑問や意見に対しては、その都度対応するのではなく、質問項目を全て読み上げた後、個別に対応するようにして下さい。

手続：その 14

調査実施担当者は、被験者の各質問項目に対する回答が、その回答欄内におさまらない場合、質問紙の余白か、裏面に記入するよう指示して下さい。

手続：その 15

調査実施終了後、速やかに、各質問紙を回収し、記入もれがないか御確認下さい。記入もれがある場合、再度記入するように各被験者に要請して下さい。

手続：その 16

その他、御不明な点があれば、筑波大学体育科学研究科 豊田（0298-53-2768）まで御連絡下さい。尚、調査実施終了後、返却用封筒に調査実施内容を同封し、10月20日月曜日までに、御返送願います。

本調査に御協力いただき、誠にありがとうございました。

資料 3：「移籍に関する調査」の記入用紙

移籍に関する調査 記入用紙【平成○年度用】

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
	氏名 合計 ()人	移籍時の年齢	移籍時の選手地位	在籍年数	移籍先	移籍先の決定	移籍の理由	移籍の予期	本人からの希望	本人の納得の程度	現在の所属
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											

資料 4：「引退に関する調査」の記入用紙

引退に関する調査 記入用紙【平成〇年度用】

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
	氏名 合計 ()人	引退時の年齢	引退時の選手地位	在籍年数	引退の理由	引退の予期	引退後の決定	本人からの希望	本人の納得の程度	移籍経験の有無	現在の所属
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											

資料 5：「サッカー選手のキャリア移行に関する調査」

＝サッカー選手のキャリア移行に関する調査＝

お願い

本調査は、サッカー選手がキャリア移行に関連した事柄に対してどのように感じているかについての意識調査です。

調査に御協力いただきました方々の全般的な傾向を求めることが本調査の目的でありますので、各質問項目にお答えいただきました個々の内容につきましては一切公表されることはありません。秘密は厳守いたしますので、素直にお答えください（注：氏名欄は無記名でも結構です）。尚、調査の目的上、再度、面接調査のご依頼をさせていただくことになるやもしれません。お手数をおかけしますが、本調査の主旨を御理解いただき、何卒御協力の程、お願い申し上げます。

研究代表者：中込 四郎（筑波大学 体育科学系 助教授）

〈その1〉

以下の質問にお答えください。質問紙は合計7ページあります。

- 氏 名 ()
- 年 齢 () 歳 ●生年月日 (昭和 年 月 日)
- どちらかを○で囲んでください (既婚 ・ 未婚)
- 最終学歴 (年 月 卒業)
- サッカー競技継続年数 (年 月)
- 現在の所属チーム名 ()
- チームの所属を○で囲んでください (Jリーグ ・ JFL ・ アマチュア)
- 現在の所属チームへの所属年数 (年 月)
- 今までにチーム移籍を体験したことがありますか？

以下の1～5の選択肢の中から、あなたに合う番号を○で囲んで下さい。

- 1：移籍体験1回あり 2：移籍体験2回あり 3：移籍体験3回あり
4：移籍体験4回以上あり 5：移籍体験なし

- 「移籍の理由」を以下の選択肢から選び、その番号をあなたの体験した「移籍の形式欄」に記入して下さい。移籍の理由は複数に渡っても結構です。

移 籍 の 理 由										
1：怪我・病気による競技力低下	2：チームメンバーとの人間関係									
3：スタッフとの不和	4：チームの目指す戦術や方針との不一致									
5：新たな選手補強による影響	6：契約交渉上の不一致									
7：その他 ()										
移 籍 の 形 式 欄										
	年月日	J ↓ J	J ↓ JFL	J ↓ アマ	JFL ↓ J	JFL ↓ JFL	JFL ↓ アマ	アマ ↓ J	アマ ↓ JFL	そ の 他
1回目	年 月									
2回目	年 月									
3回目	年 月									

(注) J：Jリーグ所属のチーム JFL：JFL所属のチーム アマ：アマチュアのチーム

〈その2〉

次の設問について、あなたが思うことを、1：全くあてはまらない～5：全くあてはまるの中からひとつ選んで、その番号を○で囲んでください。

	全 く あ て は ま ら な い		そ れ ほ ど あ て は ま ら な い		ど ち ら と も い え な い		か な り あ て は ま る		全 く あ て は ま る
1) 自分自身のことが分からなくなることがある	1	—	2	—	3	—	4	—	5
2) 人と比べられても、自分の仕事はしっかりこなすことができる	1	—	2	—	3	—	4	—	5
3) 私は完璧な人間ではないが、そんな自分が好きである	1	—	2	—	3	—	4	—	5
4) 私のやり方は、他人から誤解を受けることが多い	1	—	2	—	3	—	4	—	5
5) 人間が生きていくためには仕事は必要である	1	—	2	—	3	—	4	—	5
6) 目標のためなら、どのような我慢もできる	1	—	2	—	3	—	4	—	5
7) わずらわしい人とは、うまく交際をさけられる	1	—	2	—	3	—	4	—	5
8) 自分のことは、自分で判断できる	1	—	2	—	3	—	4	—	5
9) 自分の得意をよく知っている	1	—	2	—	3	—	4	—	5
10) 家族や自分の育ちについて、自分以外の人に決して話したくない	1	—	2	—	3	—	4	—	5
11) 誰も私のことを分かってくれない	1	—	2	—	3	—	4	—	5
12) 人間は本来、正直で誠実な生き物である	1	—	2	—	3	—	4	—	5
13) 何か課題をこなすとき、全体的な視野の中で取り組むことができる	1	—	2	—	3	—	4	—	5
14) 腹を割って話ができる友人がいる	1	—	2	—	3	—	4	—	5
15) 人前で自分の考えをはっきりと言うことができる	1	—	2	—	3	—	4	—	5

次のページに続く

	全 く あ て は ま ら な い		そ れ ほ ど あ て は ま ら な い		ど ち ら と も い え な い		か な り あ て は ま る		全 く あ て は ま る
16) 他人のようにうまくできなくても、それほど気にならない	1	—	2	—	3	—	4	—	5
17) 自分の見かけがもっと良ければ、もっといい人生なのに・・・	1	—	2	—	3	—	4	—	5
18) うまくいっても、他人は評価してはくれない	1	—	2	—	3	—	4	—	5
19) 本当に信頼できる人は、なかなかいないものだ	1	—	2	—	3	—	4	—	5
20) 将来のはっきりとした目標をもっていない	1	—	2	—	3	—	4	—	5
21) 人と親しくなりすぎない方が幸せだ	1	—	2	—	3	—	4	—	5
22) 私の人生はこれからだ	1	—	2	—	3	—	4	—	5
23) 周囲の人にのみこまれることが多い	1	—	2	—	3	—	4	—	5
24) 私は家族に誇りをもっている	1	—	2	—	3	—	4	—	5
25) 私の仲間は、私に対して正確な評価や理解を示してくれない	1	—	2	—	3	—	4	—	5
26) 人は信頼できるものである	1	—	2	—	3	—	4	—	5
27) 一つのこと集中できない	1	—	2	—	3	—	4	—	5
28) 人にとやかく言われるくらいなら、何も言わない方がいい	1	—	2	—	3	—	4	—	5
29) 自分の選んだ道に満足している	1	—	2	—	3	—	4	—	5
30) 自分には自分のやり方がある	1	—	2	—	3	—	4	—	5
31) 私は空回りばかりして、うまくいっていない	1	—	2	—	3	—	4	—	5
32) 周囲があなたに望んでいることについて、面倒だと思う	1	—	2	—	3	—	4	—	5
33) 時と場合に応じて、対応することができる	1	—	2	—	3	—	4	—	5
34) 次のステップに向けて計画を持つことはいいことだ	1	—	2	—	3	—	4	—	5
35) 親しい人でも、本当のことはわからない	1	—	2	—	3	—	4	—	5

《その3》

次の設問について、あなたが思うことを、1：全くあてはまらない～5：全くあてはまるの中からひとつ選んで、その番号を○で囲んでください。

	全くあてはまらない		それほどあてはまらない		どちらともいえない		かなりあてはまる		全くあてはまる
1) 毎日の生活が充実している	1	—	2	—	3	—	4	—	5
2) 私には、だいたいの将来計画がある	1	—	2	—	3	—	4	—	5
3) 過去のことはあまり思い出したくない	1	—	2	—	3	—	4	—	5
4) 私には未来がないような気がする	1	—	2	—	3	—	4	—	5
5) 毎日が同じことのくり返しで退屈だ	1	—	2	—	3	—	4	—	5
6) 私には、将来の目標がある	1	—	2	—	3	—	4	—	5
7) 私の過去はつらいことばかりだった	1	—	2	—	3	—	4	—	5
8) 自分の将来は自分でできひらく自信がある	1	—	2	—	3	—	4	—	5
9) 今の生活に満足している	1	—	2	—	3	—	4	—	5
10) 私の将来は漠然としていてつかみどころがない	1	—	2	—	3	—	4	—	5
11) 私は過去の出来事にこだわっている	1	—	2	—	3	—	4	—	5
12) 私の将来には、希望ももてる	1	—	2	—	3	—	4	—	5
13) 毎日の生活がなんとなく過ぎていく	1	—	2	—	3	—	4	—	5
14) 将来のために考えて、今から準備していることがある	1	—	2	—	3	—	4	—	5
15) 私は自分の過去を受け入れることができる	1	—	2	—	3	—	4	—	5
16) 将来のことはあまり考えたくない	1	—	2	—	3	—	4	—	5
17) 今の自分は本当の自分ではないような気がする	1	—	2	—	3	—	4	—	5
18) 10年後の私はどうなっているのかよくわからない	1	—	2	—	3	—	4	—	5

《その 4》

例に従って、以下に示す 10 文章を完成するように、記入してください。
2 行にわたっても結構です。

例) スポーツは・・・ 私にとって、とても楽しいものである。

① サッカー選手としての私は・・・

② サテライト降格は私にとって・・・

③ 移籍は私にとって・・・

④ 競技引退は私にとって・・・

⑤ 競技引退に備えて私は・・・

⑥ 引退後の生活で最も気がかりなのは・・・

⑦ 私の今の生活は・・・

質問紙は合計 7 ページあります。記入もれがないか、ご確認願います。

⑧私という人間は・・・

⑨親しい仲にある友人や家族は、私に対して・・・

⑩私の 10 年後は・・・

質問紙は合計 7 ページあります。記入もれがないか、ご確認願います。

御協力の程、誠にありがとうございました。

《その 5》

あなたはキャリア移行（移籍や引退）について考えたことがありますか？
考えたことがあれば、いつ頃、どのようなきっかけで、どのように
考えたかについて詳しく書いてください。

・いつ頃

・どのようなきっかけで

・どのように

本調査に対して、ご関心やお気づきの点がございましたら、以下の余
白にお書き加えください。

本調査の内容に関心があり、更に面接調査をお願いできるようでした
ら、連絡方法（例えば、住所や電話番号）を以下の余白にお書き加え
ください。そちらにお伺いすることは可能です。
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

質問紙は合計 7 ページあります。記入もれがないか、ご確認願います。

資料 6：元プロサッカー選手に対する面接のマニュアル

【面接マニュアル】

＜面接前の説明＞

その1：本調査は「プロサッカー選手のキャリア移行に関する研究」の一貫として行われます。

調査分析を目的としておりますので、お話しいただきました中の機密事項については絶対に公表されることはありません。

その2：会話の内容を詳しく分析したいと考えていますので、会話をテープに録音することを御承諾願いたいと思います。

テープの内容は私以外の誰かが聞くことは絶対ありません。

秘密は厳守いたします。率直にお話下さい。

その3：会話の最中に、疑問に思ったことや不都合がありましたら、御遠慮なくお申し付け下さい。

＜面接後の説明＞

その1：面接調査を振り返って、何かお気づきの点、ご意見などがありましたら、お聞かせ下さい。

その2：調査の目的上、再度、調査の御依頼をさせていただくかもしれません。そのときは、どうぞよろしく願います。

＜謝礼の確認＞

些少ではありますが、謝礼です。お納め下さい。

【フェイス・シート】

平成()年()月()日()時()分

調査場所()

氏名()

年齢()歳 ()年()月()日生まれ

サッカー競技継続年数()年()ヶ月

引退後経過年数()年()ヶ月

現在の所属()

勤続年数()年()ヶ月

●サッカーを始めたきっかけ

- ・ いつ
- ・ どの様なきっかけで
- ・ サッカーの魅力

1	競技者としてのアイデンティティ形成について	
---	-----------------------	--

- 1-1 小さい頃からの夢 (憧れ)
- 1-2 サッカー選手としての自分 (自己評価・他者評価)
- 1-3 サッカーが日常生活に占める割合
(サッカー専心度・生活スタイル)
- 1-4 プロ選手としての意識の芽生え
- 1-5 サッカー以外に考えていたこと、サッカー以外の取り組み、興味関心
- 1-6 家族との関係、親しい中にある人、サッカー関係者の理解
(ソーシャルサポート)
- 1-7 将来の展望 (競技に自己投入していた当時) . . . 具体性
- 1-8 時間的展望:あと何年プレイするから、今何をすべきか?
- 1-9 特異な出来事 (怪我、指導者との不和、結婚など)
- 1-10 その他

2	キャリア移行期の対処について	
---	----------------	--

- 2-1 キャリア移行のきっかけ (①移籍 ②引退)
- いつ頃
- 率直な感想
- 具体的内容
- 周囲の反応
- 原因 (予期:あり・なし)

- 2-2 自分にとってのキャリア移行の意味合い (①移籍 ②引退)
(positive · neutral · negative) (周囲の反応)
- 2-3 キャリア移行を決断したときに考えたこと
(①移籍 ②引退) (周囲の反応)
- 2-4 キャリア移行後の準備 (①移籍 ②引退) (具体的対処)
- 2-5 家族との関係、親しい中にある人、サッカー関係者の理解
(ソーシャルサポート)

3	再適応期について	
----------	-----------------	--

- 3-1 現在の所属についた経緯 (動機 · 悩み)
- 3-2 日常生活において変化したこと (影響)
- 3-3 現在の取り組み (移行前に比べて)
(positive · neutral · negative)
- 3-4 自己像 (自分の思う自分について) (周囲の反応)
- 3-5 移行前への未練
- 3-6 現状における満足度
 仕事 日常生活 自分自身

資料 7：「元学生アスリートの競技引退に関する意識調査」

【元学生アスリートの競技引退に関する意識調査】

本調査は、元競技者が競技引退に際して体験したことについての意識調査です。

御協力いただいた方々の全体的傾向を求めることが本調査の目的であります。

従って、各質問項目にお答えいただきました内容につきましては、公表されることとはございません。秘密は厳守されますので、率直にお答え下さい。調査の目的上、再度調査の御依頼をさせていただくことになるやもしれません。御手数をおかけしますが、本調査の趣旨を御理解いただき、何卒御協力の程よろしくお願い申し上げます。

<その1> 以下の質問にお答え下さい。但し、氏名は無記名でも結構です。

氏名 _____ 生年月日 ____年 ____月 ____日

年齢 ____歳 (既婚 ・ 未婚)

現在の職業 _____ 勤続年数 ____年
(転職などの経歴を詳しく教えて下さい。 : _____)

競技種目 _____ 競技継続年数 ____年

大学卒業後の競技継続年数 ____年 引退後経過年数 ____年

・ 主要競技歴 (いくつでも結構です。)

・ どのような出来事をもって、競技引退をしましたか？
引退のきっかけとなる出来事をできるだけ詳しく書いて下さい。

いつ頃：

どのような出来事：

どのように感じたか：

・ 現在のスポーツとの関わりについて、以下の選択肢から該当する番号を○で囲んで下さい。

1. 専門的にやってきた種目を継続している。
2. 専門的にやってきた種目の指導をしている。
3. 専門的にやってきた種目以外の指導をしている。
4. レクリエーションや楽しみのために専門種目を続けている。
5. レクリエーションや楽しみのために専門種目以外のことをやっている。
6. その他

<その2> 以下に示す25項目の質問について、1) 全く当てはまる ~ 5) 全く当てはまらない までの5つの選択肢の中から適当だと思ふ番号を選び、□の中に記入してください。

- 1) 全く当てはまる 2) かなり当てはまる 3) どちらでもない
4) かなり当てはまらない 5) 全く当てはまらない

1. 現役のとき、競技中心の生活を送っていた。 □
2. 現役のとき、全てを競技に捧げていた。 □
3. 現役のとき、競技以外のことは何も考えなかった。 □
4. 現役のとき、引退してからのことを具体的に考える機会があった。 □
5. 現役のとき、競技を続けることに不安を感じた。 □
6. 引退するとき、競技における目標は達成されていた。 □
7. 引退するとき、私は満足していた。 □
8. 引退するとき、喪失感を感じた。 □
9. 引退するとき、腹立たしく思ったことがあった。 □
10. 引退後の生活については、引退するまで考えなかった。 □
11. 引退を考えることが、その後の生活を考えるきっかけとなった。 □
12. 計画性をもって競技引退に臨んだ。 □
13. 引退後の生活の目標は、現役のときから持っていた。 □
14. 引退の引き金となった出来事は、前もって予期できた。 □
15. 引退することは、困難な体験であった。 □
16. 引退するに際して、その後の生活のことを懸念していた。 □
17. 引退することに、未練を感じた。 □
18. 引退することで悩んだ期間は長かった。 □
19. 引退前後で生活には大きな変化があった。 □
20. 引退するに際して、家族や友人は協力的であった。 □
21. 引退するに際して、悩みごとを相談する人がいた。 □
22. 他人が協力してくれたり、相談相手がいたことで気分が楽になった。 □
23. 現在の生活では、競技に代わるような対象がハッキリしている。 □
24. 現役のときに比べて、今の生活は充実している。 □
25. 今の自分は本当の自分ではない。 □

<その3> 例に従って、以下に示す13項目の文章を完成して下さい。

例) スポーツは 楽しいものである。

1. 競技者としての私は _____
2. 競技生活は私に _____
3. 競技引退は私にとって _____
4. 競技引退のきっかけは _____
5. 引退の臨む頃、家族や友人など親しい仲にある人たちは

6. 引退前、引退後の生活で最も気がかりだったのは

7. 引退前、私は引退に備えて _____
8. 引退した直後、私は _____
9. 引退後の私の生活は _____
10. 引退後、家族や友人など親しい仲にある人たちは

11. 引退後、私は社会と _____
12. 引退前と引退後を比べて、私は _____
13. 私は競技引退を _____

質問紙は合計4枚あります。

御手数ですが、記入もれのないよう御確認下さい。
御協力いただきまして、誠にありがとうございました。

資料 8：「元アスリートの競技引退に関する意識調査」の結果 (SCT)

ID	SCT-1：競技者としての私は...
1	常に勝利に向かい努力し、精進し、よく頑張ったと思う
2	プロ意識に欠けており、健康管理が上手くいかなかった
3	非日常的な部分を持った自分自身である
4	常に勝つことを求め、妥協せず、精一杯だった
5	競技力向上のため、かなり努力し練習した
6	種目に命を賭けるぐらい一生懸命頑張った
7	目標に向かって努力するひたむきな人間だった
8	運には見放されていたが、それなりのものを残せた
9	目標に向かって進んでいた
10	自分に厳しく、非情になれる
11	充実した時間を過ごすことができた
12	自己を主張できる中で、最高のものと考え
13	ある程度の目標は達成できたと思う
14	競技にだけは妥協しなかった
15	もとより一流の競技者ではないが、それなりに頑張った
16	常に記録に対して食欲で、プライドの高いもの
17	競技中心の生活をしていた
18	最も充実した時期であり、特別な経験をする事が出来たと思う
19	本当に色々な事を体験できたと思われる
20	努力が足りなかった
21	競技中心の生活を送った
22	迷いがなく、設定した目標に向かって絶えず努力していた
23	今考えると精神的にも肉体的にも未完成であったと思う
24	これで終わり
25	今考えると甘かった
26	自分に厳しく、生活・思想・信条も変えてしまった
27	ある意味で生涯アスリートとして生きて行くだろう
28	充実した生活を送ることができた
29	チャレンジャーであり、自己の可能性を信じて、競技力向上に取り組んだ
30	充実していたが、もっとやれた
31	もう1人の自分
32	勝つことだけを考えていた
33	練習嫌い
34	生活のほとんどを競技力向上にかけ努力していた
35	自分なりにある程度ではあるが満足した
36	充実していた
37	日々の生活を競技中心に考え、充実していた
38	生き生きしていた
39	全てを競技に費やし、その競技を全うすることで精一杯であった
40	目標達成のため、研究と工夫を繰り返し、日々努力していた
41	生活スタイルの中心が競技であった
42	幸福であり多くのことを学んだ
43	オリンピック出場を目標としていた
44	周囲の期待を感じながら、競技力向上中心に生活していた
45	成績を上げることが出来なかった
46	成功することができなかった
47	幸せであった
48	目標を達成できないレベルで終わってしまった
49	目標が達成することが出来ず、努力が足りなかった
50	いつも向上心を持っていた
51	ストイックであった
52	常に競技のことを考えていた
53	決して一流とはいえなかった
54	充分満足できる競技生活を送っていた
55	能力のある限り、眼界まで精一杯やった
56	明確な目標を持ち、前向きな姿勢で生きてきた
57	いつも競技のことを最優先に考えていた
58	完全燃焼とはいえないが、自分なりに納得している
59	充実していた
60	他人の出来ない経験を数多く持っていると思う
61	満足しきることはないが、その時その時の充実感が素晴らしい

- 62 競技に対してひたむきに取り組み、熱血漢であった
 63 充実していた
 64 輝いていたと思う
 65 決して一流ではなかったが、とても貴重な体験をした
 66 やるだけのことはやった

ID

SCT-2：競技生活は私に...

-
- 1 生活そのものだった
 2 貴重な体験をもたらし、多くの知人や友人が出来た
 3 自分の中のもう1人の自分を発見させてくれた
 4 多くの喜びと感動と思い出を残してくれた
 5 充実した日々を与えてくれた
 6 人生最大の勉強をさせてくれた
 7 掛け替えのない財産を与えてくれた
 8 多くの友人や勉強する機会を与えてくれた
 9 辛いこともあったが、好きなことができる最高の場であった
 10 耐えることと喜びを与えてくれた
 11 多くの経験と人との出会いを与えてくれた
 12 生き甲斐とやりがいを与えてくれたものであり、全てだった
 13 これからの人生の忍耐力と体力を教えてくれた
 14 素晴らしい財産を与えてくれた
 15 数多くの貴重な経験を与えてくれた
 16 自信の場とときどきのプレッシャーを与えてくれた
 17 充実感を与えてくれた
 18 新たな価値観を与えてくれ、私自身も成長することができた
 19 たくさんの夢を与えてくれた
 20 様々な意味でプラスになった
 21 自分の限界を超えられることを教えてくれた
 22 自分自身をよく見つめる場を与えてくれた
 23 多くの財産を残してくれた
 24 勝負に対する集中力を高め、生活を充実させてくれた
 25 楽しさと感謝の心を与えてくれた
 26 多くの遺産を残してくれた
 27 元気を与え、人生を教えてくれた
 28 自信を与えてくれた
 29 楽しさとは違う満足感を与えた
 30 今の人生を送る上で多くのことを教えてくれた
 31 自信と未来を与えてくれた
 32 充実感を与えてくれた
 33 就職を世話してくれた
 34 辛いことも多かったが、充実していた
 35 自信と楽しさ、友人を与えてくれた
 36 努力によって目標を達成する喜びを与えてくれた
 37 多くの喜びを与えてくれた
 38 目標を持たせ、努力することを学ばせた
 39 とてもプラスであった
 40 常に前進する気持ちを与えてくれた
 41 多くの友人や恩師を与えてくれた
 42 多くの人との出会いの機会を与えてくれた
 43 様々な経験をさせてくれた
 44 色々な経験ができ、大きな肩書きを与えた
 45 とても貴重な体験となった
 46 多大なプラスの影響を及ぼした
 47 目標を与えてくれた
 48 多大なものをもたらし、今の私を支えてくれている
 49 充実感を与えてくれた
 50 様々な感動を与え、充実させてくれた
 51 常に自分を客観視し、自己を高めていく精神を身につけさせてくれた
 52 とても苦しいことであったが、今は良い思い出である
 53 充実感を与えてくれた
 54 様々な経験や多くの友人を与えてくれた
 55 たくさんの事を教えてくれた
 56 そこそこの達成感ともものすごい充実感を与えてくれた

- 57 良い経験を与えてくれたと思う
 58 多くの財産を与えてくれた
 59 夢を与えてくれた
 60 貴重な体験をもたらした
 61 社会生活に対する甘さをもたらした
 62 今日の人生を支え、今後の指導経験に少なからず影響している
 63 (影響したかどうか分からない)
 64 充実感をもたらした
 65 いろいろな経験を与えてくれた
 66 多くのことを教えてくれ、現在の自分の基礎となった

ID

SCT-3: 競技引退は私にとって...

- 1 淋しいことであったが、新たな始まりでもあった
 2 淋しいものであり、その後の仕事や生活に不安を感じた
 3 それまで得られなかったものに触れる機会を与えてくれた
 4 人生の大きな節目であった
 5 かなりのショックであったが、今後の生活を考えるのが重要だった
 6 人生のひとつの転機であったが、昔には思わなかった
 7 一つの終わりを告げるものであった
 8 特別なことではなく、ごく自然に訪れたことで、悲しくも嬉しくもなかった
 9 人生の転機である
 10 第二の人生を送るきっかけとなった
 11 一つの通過点に過ぎない
 12 人生の転機であり、本当の人生を考えるものだった
 13 残念であるが、後輩達のためになるのであれば仕方ないこと
 14 私の人生にとって、それほど大きな問題ではなかった
 15 競技力向上を目指すことをあきらめることだった
 16 スポーツに対する別の見方を教えてくれた
 17 人生の一つの通過点である
 18 淋しいことではあったが、別の価値観で満足を得ることが出来た
 19 次代の選手をつくるためのスタートである
 20 少し悔いが残る
 21 当然起こるべきことである
 22 人生のひとつの節目である
 23 あっけないものであった
 24 残念なことだが、次の事を前向きに考えることであった
 25 大きな楽しみの一つを奪った
 26 一つの区切りである
 27 寝たきりになるときだろう
 28 人生の中で大きな転機であった
 29 一つの通り道であるが、出発点でもある
 30 今では悔い
 31 長い精神的戦いの終止符
 32 残念であり、嬉しくもあった
 33 早すぎた
 34 将来のためには仕方ないことだと思った
 35 大きな転機であった
 36 1回目の死であった
 37 新たな目標と仕事を与えてくれたが、もっとやれたのではという未練を生んだ
 38 人生の転換期の一つである
 39 人生の大きな変化であったが、満足感でいっぱいだった
 40 満足のいく形ではなかった
 41 指導者として、教師として本当の意味での第一歩になった
 42 終わりではなく、指導者としての新たな始まりである
 43 悔しい反面、辛いトレーニングをしなくてもいいというホッとした気持ちを感じた
 44 いつかは来るものである
 45 次の新たな目的への出発となった
 46 自然なものであった
 47 新しい生活のスタートであった
 48 大きなターニングポイントであった
 49 指導者としての第二の競技生活の始まりである
 50 人生の転機だと思う
 51 人生の大きな節目であった
 52 新しい生活が始まった

- 53 寂しさを感じさせた
- 54 悔しい出来事であったが、良い転機となった
- 55 辛かったが、体力の限界で仕方なかった
- 56 臨んでいたものであり、望んでいなかったものでもある
- 57 競技のことを更に考えるための新しい出発であった
- 58 単なる通過点であり、終わりだとは思っていない
- 59 新しい人生の出発点と考えている
- 60 未練はあったが、その分、指導者として頑張っていきたいと思った
- 61 運動不足をもたらした
- 62 ショックな出来事であると同時に、人生の一つの節目である
- 63 新しい人生の出発点と考えている
- 64 やすらぎを与えた
- 65 自分を見つめ直すいい機会であった
- 66 自然な通過点であった

ID

SCT-4：競技引退のきっかけは...

-
- 1 前年まで出来ていたプレイが出来なくなったことである
 - 2 体力的な衰えを感じ、また、一線での活躍が難しくなった
 - 3 自分のスタイルについて考えるきっかけを与えてくれた
 - 4 体力の衰えである
 - 5 同じポジションに新人が入り、将来性を踏まえて監督から引退勧告を受けた
 - 6 体力の低下であるが指導がしたい思いがあった
 - 7 燃え尽きである
 - 8 気持ちの上で他にやらなくてはならないことを見つけたことである
 - 9 周囲の人間関係の変化から
 - 10 就職し、自立して生活して行かねばならなかったこと
 - 11 競技に集中できなくなったことが、一番の原因である
 - 12 Jリーグ設立とプロ化と監督の交代である
 - 13 自分のトレーニングを行わなくなったことだ
 - 14 指導している生徒に負けたことであり、指導に専念するきっかけにもなった
 - 15 やはり競技力の足らなさを痛感した
 - 16 手術に入院と予想も出来ないことだった
 - 17 就職に伴い、競技に集中できなくなったことである
 - 18 競技の場を去ったことで、レクリエーションとしてのスポーツに転換できた
 - 19 私と取り組む周囲の流れにのったものである
 - 20 試合で自分より実力が下の者に負けたからである
 - 21 目標であったオリンピック出場が不可能となったため
 - 22 将来やることとのギャップの大きさ
 - 23 けがと仕事
 - 24 練習の怪我であるが、歳をとったことにもよる
 - 25 オリンピックへ行けなかったことによる競技意欲の低下
 - 26 自己の限界と次の目標への切り替えであった
 - 27 まだないと思っている
 - 28 職業柄、仕方がないことであった
 - 29 トレーニング遂行上のいくつかの問題点が見えたことである
 - 30 モスクはオリンピックボイコットであるが、今はささいなこと
 - 31 精神的・体力的限界
 - 32 妊娠したので
 - 33 スタッフとの考えの相違である
 - 34 記録の停滞、年齢的な問題
 - 35 Jリーグの開幕
 - 36 怪我と選手としての限界を感じたこと
 - 37 妊娠である
 - 38 自分だけでは決められない
 - 39 持病の悪化が仕事に影響するのではと感じたとき
 - 40 充分調整した試合で、あまりにもイメージと異なる内容であったこと
 - 41 職務に専念しなければいけないことに気づいたとき
 - 42 指導者と選手の両立の困難さを感じていたことであり、いいタイミングであった
 - 43 強化選手を外れたとき
 - 44 所属クラブの廃部
 - 45 競技力の限界を感じたことと、指導者への道に早く進みたかったこと
 - 46 オーバートレーニングである
 - 47 競技に対する限界を感じたこと
 - 48 私より競技意欲に満ちた選手が目前に現れたことである

- 49 怪我が直接的な原因である
- 50 結婚だった
- 51 周囲の偏見のため
- 52 怪我である
- 53 怪我がひどく、完治が難しいこと
- 54 監督との意見の相違による競技意欲の低下
- 55 競技成績の限界と気力の減退
- 56 高いレベルの競技会からの離脱
- 57 強化選手を外れたため
- 58 自分で納得のいく動きが出来なくなったこと
- 59 自分で納得行く練習ができなくなったことにある
- 60 コーチへの招へいによる
- 61 所属チームの解雇
- 62 体力の衰え
- 63 怪我
- 64 気力の低下を感じたことである
- 65 理解あるコーチがいなくなったことと、アマチュアでの環境に限界を感じたこと
- 66 目標としていた大会を終えたこと

ID SCT-5：引退に臨む頃、友人や家族など親しい仲にある人たちは...

- 1 まだまだ出来ると言ってくれた
- 2 競技で培った気力と体力、集中力を今後の仕事へ活かせとアドバイスをくれた
- 3 私自身、引退を意識することなく、いつもと変わらず接していた
- 4 多くの者が反対し、残留を臨んだ
- 5 これからのことを考えた方がよいとアドバイスをくれた
- 6 予め引退をほのめかしていたので、誰も反対しなかった
- 7 御苦労様とってくれた
- 8 次のオリンピックまでやった方がいいとってくれたが、その気がなかった
- 9 別に何もいわれなかった
- 10 競技を続けることを強要しなかった
- 11 自分の思いを理解し、バックアップしてくれた
- 12 他の道を勧めてくれたりした
- 13 残念な気持ちでいるといったが、指導も大切なことを納得してくれた
- 14 特に競技に関する話題はなかった
- 15 競技についてあまり話をしなかった
- 16 励ましてくれた
- 17 特に注目されていた訳ではないので大きな変化はなかった
- 18 それなりの成績をおさめたので満足し、新たな生活を始めるきっかけとなった
- 19 次の生活も大丈夫と励ましてくれた
- 20 まだ出来ると言ってくれた
- 21 よく頑張ったとってくれた
- 22 よく決心したと褒めてくれた
- 23 自然に受け止めていった
- 24 別に何もいわないが、円盤を投げている姿を子供に見せたかった
- 25 うすうす感じていた
- 26 引退を惜しんでくれた
- 27 引退するとは思っていない
- 28 引退を惜しみ、次の生活へのアドバイスをくれた
- 29 周囲の人たちへの配慮を促した
- 30 理解を示してくれた
- 31 ともに引退を喜び、祝ってくれた
- 32 こどもが出来たことで、やめても良いんじゃないかという感じだった
- 33 仕事で今度は頑張れと声をかけてくれた
- 34 引退することに賛成した
- 35 よくやったとってくれた
- 36 私の意見を尊重してくれた
- 37 特に何もいわなかった
- 38 アドバイスをくれる
- 39 私の考えをよく理解してしてくれる
- 40 まだ続けられるとってくれた
- 41 指導者と競技者の両立の難しさを理解してくれていた
- 42 何もいわなかった
- 43 これで良いんだと温かく接してくれた
- 44 コーチとしての手腕に期待してくれた

- 45 良き相談相手になってくれた
- 46 特に関心を示さなかった
- 47 特に何もいわなかった
- 48 あまり関心を示さなかった
- 49 惜しんでくれたが、激励してくれた
- 50 様々な経験と人生観を語ってくれ、引退後の生活に希望を持たせてくれた
- 51 特に何もいわなかった
- 52 競技を続けるようにいわれた
- 53 あまりそのことについて話さなかった
- 54 よく相談にのってくれた
- 55 同意してくれた
- 56 競技をもっと続けるだろうなと思っていた
- 57 よく頑張ったなとか、もったいないねとかいってくれた
- 58 さほど大きな関心を寄せなかった
- 59 最後まで悔いのないようにと声をかけてくれた
- 60 もう少しも思ったが、中途半端は出来ないと思い決意した
- 61 意見をよく聞いてくれた
- 62 特に気にしてはいない
- 63 競技についてあまり話をしなかった
- 64 私の気持ちを理解し、私の判断に任せてくれた
- 65 一緒になる時間が増えたと喜んでくれた
- 66 興味を持ってはくれなかった

ID SCT-6：引退前、引退後の生活で最も気がかりだったのは...

- 1 特になし
- 2 今まで遅れていたハンディを取り戻せるかどうか
- 3 特になかった
- 4 家族の生計である
- 5 かなりの収入が減り、生活できるかどうかという不安
- 6 特になかった
- 7 特にない
- 8 何もない
- 9 指導法についてである
- 10 体力の低下と自分が打ち込めるものがあるかどうか
- 11 競技者としてではなく会社員としての能力が歳相応に身につけているかどうか
- 12 仕事が生き甲斐となりうるかどうかだった
- 13 自分自身の健康管理が疎かになるのではと思った
- 14 特になかった
- 15 特になかった
- 16 運動不足や体力不足
- 17 特にない
- 18 スポーツに変わりうる何かが見つかるのか、及び、生活パターンの変化
- 19 金銭的なギャップである
- 20 特になし
- 21 特になし
- 22 生活のパターンや物事の捉え方の変化
- 23 特に思い当たらない
- 24 身体が貧弱になりやしないかということ
- 25 特になし
- 26 特になし
- 27 何もない
- 28 自分の身体の変化である
- 29 仕事の足場を固めることだった
- 30 何もない
- 31 目標がなくなり、生活にメリハリがなくなること
- 32 引退後のチームのことが心配になったことぐらい
- 33 特になし
- 34 目指す職業につけるかどうか
- 35 特になし
- 36 新しい世界を切り開いていく能力があるかどうかということ
- 37 特になし
- 38 仕事を会社の中でやっていけるかどうかということ
- 39 競技がなくなることや充実した生活が送れるかどうかということである
- 40 教職に一日も早くつきたかった

- 41 健康状態である
- 42 生徒が強くなれるかどうかということであった
- 43 何を目標にすればいいのかということ
- 44 会社の仕事についていけるかということであった
- 45 次に進む道が私にとってふさわしい仕事であるかどうかであった
- 46 体調が元に戻るかということであった
- 47 何もなかった
- 48 自己管理やアイデンティティが確立されるかということであった
- 49 特にないが、次の目標が達成できるかどうか
- 50 競技のように情熱を傾け、緊張ある時間を見出すことができるかどうか
- 51 目標がなくなり、空っぽになることと、緊張感がなくなり怠惰になること
- 52 会社関係者からのコメント・評価であった
- 53 引退後も種目を楽しめる機会があるかどうかということ
- 54 同年代との評価の差である
- 55 体調の変化である
- 56 目標がなくなること
- 57 充実した時間の使い方が出来るかどうか
- 58 自分の記録がいつまで残るのかということ
- 59 食生活であり、現役選手と同じように食べてしまい太るのではないかということ
- 60 何もない
- 61 運動不足とお金のこと
- 62 体調の維持である
- 63 何もない
- 64 競技へ向けていたエネルギーを充当することの出来る他のものが見つかるかどうか
- 65 給料が下がるのではないかということ
- 66 体力の維持であった

ID

SCT-7：引退前、私は引退に備えて...

-
- 1 悔いの残らないシーズンにしようと努めた
 - 2 上司に相談し、よりよい方向づけをした
 - 3 何もしていなかった
 - 4 その有終を飾るべく最後まで努力した
 - 5 種目以外にやりがいのある仕事は何かを考えた
 - 6 最後のシーズンを頑張ろうという気持ちでいた
 - 7 何もしていなかった
 - 8 何も準備していなかった
 - 9 別に何もしなかった
 - 10 何も考えなかった
 - 11 仕事を出来るだけ覚えようとしていた
 - 12 気持ちを切り換えようと努力した
 - 13 その後のことを色々考えた
 - 14 何一つ考えていなかった
 - 15 特に何もしていない
 - 16 特に何も備えていなかった
 - 17 何もしていなかった
 - 18 特に何もしていないし、考えてもいなかった
 - 19 全てを燃やし尽くすように頑張った
 - 20 少しは考えた
 - 21 何もなかった
 - 22 自分の持っているトレーニング方法を後進に教えてみようと考えた
 - 23 何もしていなかった
 - 24 何も考えていなかった
 - 25 何もしなかった
 - 26 やるだけのことはやった
 - 27 何も考えてなかった
 - 28 引退する大会を選んだ
 - 29 何もしていなかった
 - 30 何もしていない
 - 31 心の準備をした
 - 32 別に何もしていない
 - 33 何もしていない
 - 34 職探しをしていた
 - 35 何もしていなかった
 - 36 指導者になる勉強をした

- 37 何もしていない
- 38 仕事について勉強した
- 39 競技でやれることは全てやろうと考えた
- 40 特に何もしていない
- 41 最後の試合を決めることに専念した
- 42 特にしていない
- 43 何もしていなかった
- 44 会社の仕事を覚えようとした
- 45 競技について勉強していた
- 46 何もしていない
- 47 何もしなかった
- 48 特に何もせず、時の流れに身を任せた
- 49 指導力を付けることに専念した
- 50 競技に対する情熱を燃焼し尽くしたかった
- 51 特に何もしていなかった
- 52 何もしていなかった
- 53 教師になることを考えていた
- 54 特に何もしていない
- 55 目標突破のために努力した
- 56 特に何もしなかった
- 57 次の進む道をぼんやり考えていた
- 58 特に何もしていない
- 59 悔いの残らないように過ごすことばかり考えていた
- 60 何もしていなかった
- 61 会社を辞めなかった
- 62 何もせず、自然の成り行きに任せていた
- 63 特に何もしていない
- 64 特に何もしなかった
- 65 若い選手にアドバイスするように努めた
- 66 特に何もしていなかった

ID

SCT-8：引退した直後、私は...

-
- 1 よくやったという満足感でいっぱいだった
 - 2 毎日のトレーニングから解放され、一時的に気持ちが楽になった
 - 3 何かレクリエーションとしてできるスポーツはないかと考えた
 - 4 新しい生活への不安が多かった
 - 5 種目のことは忘れ、仕事に一生懸命に打ち込んだ
 - 6 指導者として充実していたが、淋しい思いもした
 - 7 のんびりしようと思った
 - 8 悲観的もしくは喪失感とかではなく、前向きにどうしようと考えた
 - 9 何もせずぼーっとしていた
 - 10 今までの自分を振り返っていた
 - 11 ある種の開放感に浸ることができた
 - 12 仕事に集中するように心がけた
 - 13 もう少しできるのではという残念な気持ちも少しはありました
 - 14 淋しい反面ホッとした
 - 15 特に変化なく、今までと同じように生活していた
 - 16 病気が治ればまたやりたいと思った
 - 17 若干プレッシャーから解放された
 - 18 レクリエーションとして楽しめるスポーツを探した
 - 19 とても満足感があった
 - 20 別のスポーツもやってみようと考えた
 - 21 時間が充分出来た
 - 22 自分の世界は特殊なものであると気づいた
 - 23 怪我の後がもどかしく思った
 - 24 ちょっと淋しく思った
 - 25 競技を続けているライバルをうらやましく思った
 - 26 次の目標へ向けて頑張った
 - 27 死んだような感じがした
 - 28 未練がのこった
 - 29 今までの生活を振り返り、反省し、積極的な取り組みをした
 - 30 世の中の仕組みがよくわかった
 - 31 目の前が明るくなった
 - 32 運動することが少なくなり、ストレス気味であった

- 33 哑然としていた
- 34 特に何もなかった
- 35 少し失望したかも知れない
- 36 とても大きな喪失感と空白感、やり場のない悲しみの中にいた
- 37 忙しい毎日から解放されホッとした
- 38 仕事に打ち込み、競技を忘れようとした
- 39 満足感でいっぱいだったが、寂しさも少し感じた
- 40 気持ちを仕事一本に絞り込もうと必死になった
- 41 指導者という意識に切り換えようと努力した
- 42 普段と全く変わらなかった
- 43 明日からどうしようかと思った
- 44 会社員と指導者の両立に努めた
- 45 気持ちを切り換えるために、新しい仕事に没頭した
- 46 ホッとした
- 47 社会人として多忙な毎日を送っていた
- 48 大きな野望と大きな目標を持つように心がけた
- 49 残念な気持ちであった
- 50 後進の指導に情熱を傾けようと努力していた
- 51 次なる目標を掲げ、自分を高めようと決意した
- 52 ホッとした
- 53 時間を持て余してしまった
- 54 新たな職業について考えた
- 55 限界を感じながらも、充実感があった
- 56 ホッとした
- 57 何も手につかなかった
- 58 特に何もしなかった
- 59 ゆっくり自分のことを考える時間がはしかった
- 60 指導について考えた
- 61 海外旅行をした
- 62 多忙な仕事にライフスタイルをあわせた
- 63 ホッとした
- 64 ただ与えられた仕事をこなした
- 65 よく競技中の夢を見たり、まだやれないのではと少し悩んだりした
- 66 指導に興味を持った

ID SCT-9：引退後の私の生活は...

- 1 指導に全力を注ぎ、競技者としての生活よりも多忙である
- 2 仕事中心の生活を送っている
- 3 結局、身体を動かすことから逃げられない
- 4 給料も2/3になり、家賃も高騰し大変だった
- 5 競技をやっていたときは比べられないが、充実している
- 6 変化はなかったが、精神的に楽になった
- 7 仕事と家族が中心であった
- 8 大した変化はない
- 9 競技に携わっているもので、それほど大きな変化はない
- 10 仕事中心のものに変わった
- 11 競技者としてではなく、競技をサポートすることが中心となっている
- 12 多忙で競技のことを考えることはあまりなかった
- 13 逆に充実している
- 14 指導者としての生活を送っている
- 15 特に変化はないが、少しいい加減になって良かった
- 16 指導に専念できるようになった
- 17 ほとんど変わらない
- 18 他のスポーツをする機会が多くなった
- 19 金銭的なギャップとの戦いであった
- 20 様々なスポーツに挑戦している
- 21 競技の占める割合が減った
- 22 新たな目標を設定し、気持ちだけは変わっていないと思う
- 23 特に変わらない
- 24 ほぼ毎日ジョギングしている
- 25 自分ももう一度やりたいなと思うことがある
- 26 特に変わりがない
- 27 相変わらず走っている
- 28 運動することが極端に減った

- 29 仕事中心である
- 30 時間的余裕ができ、ある意味、持て余していた
- 31 それなりに充実している
- 32 競技をしているときは異なった充実感を味わっている
- 33 順調に会社生活を送っている
- 34 特に変化はないが、トレーニングしなくて良いので楽だった
- 35 充実している
- 36 物質的には恵まれているが、精神的には物足りなさを感じている
- 37 出産の準備にかかった
- 38 仕事中心になった
- 39 仕事に対する楽しさを知り、充実した毎日である
- 40 仕事を覚えるのに必死だった
- 41 競技者としての自分と比べて、これで良いのかと自問自答を繰り返した
- 42 ほとんど変化ない
- 43 何となく無気力であった
- 44 筋力の低下に不安を感じた
- 45 大変多忙であり、不安を感じることもある
- 46 充実しているが、後悔があるので復帰したいとも思っている
- 47 普通の生活を送り、競技生活で出来なかったことを取り返していた
- 48 苦難もあったが、今思えば楽しいことばかりであった
- 49 指導中心であった
- 50 仕事に費やす時間が増え、競技からはすっかり遠ざかってしまっている
- 51 多少穏やかになったが、あまり変わっていないと思う
- 52 広く物事を見れるようになった
- 53 リラックスしてスポーツを楽しめるようになった
- 54 新しい仕事を探していた
- 55 いつもと変わらない
- 56 トレーニングから解放されたために、かえってリズムを失った
- 57 仕事で忙しくなった
- 58 大きな変化はなかった
- 59 自分中心から生徒中心に移っていった
- 60 選手を育てるのが中心である
- 61 つまらない
- 62 時間の有効的な使い方を探し求めた
- 63 自分中心から生徒中心に移っていった
- 64 平穩である
- 65 あまり変わらなかった
- 66 指導についての勉強が中心となった

 ID SCT-10: 引退後、親しい仲にあった人たちは...

- 1 よくやっさと褒めてくれる反面、まだやれるとってくれた
- 2 会う機会が少なくなったが、連絡だけはとっている
- 3 特に変わりなく接している
- 4 大いに励ましてくれた
- 5 仕事頑張ってやっているじゃないとってくれた
- 6 動かなくなったので太ったといった
- 7 御苦労様とってくれた
- 8 今でも付き合いがある
- 9 別に何も話さない
- 10 競技を続けていて、うらやましく思った
- 11 引き続き、私をサポートしてくれる
- 12 競技を辞めたことに関してあまり触れなかった
- 13 今後は指導者としての私を見守ってくれるのではと思っている
- 14 変化はない
- 15 競技とは関係なく付き合いをしている
- 16 同じ内容を話し、相談している
- 17 特に変化はない
- 18 交流の機会は減ったが、連絡は取っている
- 19 以前と変わらない
- 20 今でも勝てると言ってくれる
- 21 特に変りない
- 22 それぞれ頑張っており、強い絆を感じている
- 23 もうやらないのと聞いてきた
- 24 特別何も言いません

- 25 競技を続けてないのとよく聞かれる
- 26 変わらない
- 27 これからも共に生きていく
- 28 特に変わったことはなかった
- 29 変わらない
- 30 以前より親密になった
- 31 これからも仲良くしていきたい
- 32 復帰してくれなどと言っている
- 33 今でも種目と関わりを持っている
- 34 特に変化はない
- 35 競技に関連した仕事に就けてよかったと言っている
- 36 私を励ました
- 37 特にない
- 38 付き合うことが少なくなった
- 39 未だに親しく付き合っている
- 40 温かく見守っていてくれた
- 41 もっと頑張ればいいのと言ってくれた
- 42 もったいないと言った
- 43 それまで通りに接してくれた
- 44 残念に思ってくれた
- 45 競技を継続していた
- 46 特に変化はなかった
- 47 社会人として生活している
- 48 同じように接してくれる
- 49 現役のときと変わらない
- 50 ほとんど会っていない
- 51 以前と変わりに接してくれる
- 52 別に変わらない
- 53 相変わらずである
- 54 色々な面で協力してくれた
- 55 いつもと同じである
- 56 もったいないとよくいった
- 57 相変わらず仲がよい
- 58 特に関心を示さなかった
- 59 長い間御苦労様と言ってくれた
- 60 現在も優しい
- 61 特に変わらないと思う
- 62 特に気にする様子もない
- 63 別に変わらない
- 64 どうしているのかわからない
- 65 変わらず同じ付き合いをしてくれる
- 66 特に変化していない

ID

SCT-11：引退後、私は社会と...

-
- 1 関わりを大切にし、良い選手を送っていただけるように努めている
 - 2 現在まで養ったスポーツマンシップをもって接していくつもり
 - 3 関わり方が変わり、より多くの人と関わり合いを持っている
 - 4 新しいつながりがもて、新しい視点でみている
 - 5 新しい関係となり、何らかの形で貢献していきたい
 - 6 今までと全く変わらない
 - 7 何ら変わりにく付き合っている
 - 8 上手くつき合えているかどうかわからない
 - 9 関わりを多く持つようになった
 - 10 子供たちの教育のため、頑張ろうと思った
 - 11 今までと違った形で接するようになった
 - 12 協調して生きていこうとした
 - 13 ギャップを感じている
 - 14 平和に過ごしている
 - 15 普通に付き合ってきたと思う
 - 16 引退前と全く異なる関係が出来ている
 - 17 協調して生活している
 - 18 生きていくために、競技以外の知識を深めた
 - 19 私を育ててくれた故郷に恩返しをしている
 - 20 スポーツ界の違いを感じた

- 21 何ら変わらない
- 22 戦っている
- 23 近い存在になったかも知れない
- 24 家族のために尽くそうと思う
- 25 別の形で関わりを持っていこうと思っている
- 26 上手くやっている
- 27 上手くやっている
- 28 上手くやっている
- 29 接点を更に深めるために、仕事での役割に没頭した
- 30 共に生きている
- 31 向き合って生活している
- 32 うまくやっているのかどうか、よくわからない
- 33 上手くやっているのかなあ
- 34 指導などを通じて貢献していくつもりである
- 35 上手くやっているのかどうか・・・
- 36 密接な関係を持たざるを得ない
- 37 特にない
- 38 密接な関係になったと思う
- 39 付き合い、現実を知るようになった
- 40 付き合いながら、何か貢献できることはないかと指導に取り組んでいる
- 41 今までよりも広範囲で付き合い合うようになった
- 42 関係を大切にしようと思った
- 43 接する機会が多くなった
- 44 うまく付き合い合っている
- 45 関わるが多くなった
- 46 特に問題なく、適応していると思う
- 47 より密接な関係を持てるようになり、社会人としての自覚も芽生えた
- 48 更に強い関係をつくらねばならなかった
- 49 現役時代と同じである
- 50 さらに隔たりを感じている
- 51 以前と変わりなく関係を持っている
- 52 共に生きていく
- 53 上手くやっている
- 54 離れることもなく、比較的スムーズに合流できた
- 55 いつもと同じである
- 56 親密になった面もあるし、疎遠になった面もある
- 57 より関係を持つようになった
- 58 特に変わったことはない
- 59 上手く付き合い合っている
- 60 色々な場面で関わっている
- 61 上手くやっている
- 62 若干の隔たりを少しずつ埋めていきながらも、後進の指導にあたりたい
- 63 何ら変わらない
- 64 上手く付き合い合っているのかどうかわからない
- 65 精力的に関わりを保っている
- 66 関わりにおいて大きな変化はない

 ID SCT-12：引退後、引退前に比べて私は...

- 1 競技生活とは違った忙しさを体験している
- 2 自己中心的な部分が少なくなり、性格が穏やかになったと思っている
- 3 性格が穏やかになったと思う
- 4 人間的に大きくなっているように思う
- 5 たくさんの人と出会い、考え方が広くなった
- 6 特に変化はなかった
- 7 普通の身体に戻ってしまった
- 8 明るくなったと言われる
- 9 社会人として大きくなった気がする
- 10 考え方が変わった
- 11 接する人の幅が広がったように思う
- 12 やりがいのないことに気づいた
- 13 競技一筋の考えから、全体がみれる人間に変わってきていると思います
- 14 集中力にかけるとな気がする
- 15 少しずつ食事に注意を払わなくなった
- 16 人の見方が変わった

- 17 特に変化はない
- 18 競技以外に無能で、知識のないことを痛感した
- 19 人間的に大きくなったと思われる
- 20 スポーツを楽しくやれるようになった
- 21 他の競技にも興味を持った
- 22 気持ちは変わらない
- 23 性格が攻撃的でなくなった
- 24 生徒のことが気になるようになった
- 25 エネルギーを注ぐ機会が無くなった
- 26 おおらかで優しくなった
- 27 スポーツを楽しんでいる
- 28 仕事に集中するようになった
- 29 冷静になった
- 30 何も変わらないが忙しくなった
- 31 明るくなった
- 32 母親という喜びを味わっている
- 33 種目に対する愛着を持たなくなった
- 34 性格的に変化があり、優しくなった
- 35 変わることなく一生懸命やっている
- 36 競技を客観的にみれるようになった
- 37 特に心境の変化はなかった
- 38 人間的に成長した
- 39 社会を見つめる視野が広がった
- 40 楽しみながら競技をできるようになった
- 41 指導者として生徒のことを考える機会が増えた
- 42 競技を指導する責任の重さを感じた
- 43 イライラしないでゆっくり物事を考えられるようになった
- 44 健康上の不安が生まれた
- 45 前向きに取り組んでいたと思う
- 46 少し自信がなくなったかな
- 47 別の自分を見つけることが出来た
- 48 変わらないと思うし、全く別の世界と割り切っている
- 49 その競技団体の仕事が増えた
- 50 自己表現の場を失った感じで、生き方や考え方に自信がなくなった
- 51 視野が広がったように思われる
- 52 競技のことを考えなくても良いので、気持ちが楽になった
- 53 色々なことに関心を示すようになった
- 54 多くの人と知り合えた
- 55 より自分に厳しくなったと思う
- 56 初心に戻った
- 57 自分のやってきたことをより深く考えることが出来るようになった
- 58 他のスポーツに興味関心を持つようになった
- 59 優しくなった
- 60 太った
- 61 とても忙しくなった
- 62 気分的にはリラックスしている
- 63 優しくなった
- 64 余裕があるためか、つまらないことで悩むことが多い
- 65 社会人としての自信と責任を持てるようになった
- 66 より自律的になった

ID

SCT-13：私は競技引退を...

-
- 1 一つの節目と捉えている
 - 2 遅すぎたはいけないことだと思っている
 - 3 明確な意識を持ってはいない
 - 4 人生の大きな節目を考えている
 - 5 一つの通過点と考えている
 - 6 特にどうだという思いはなかった
 - 7 印象深い出来事だと記憶している
 - 8 仕方ないことだが、悲しくべきことではない
 - 9 人生の一つの節目だと思う
 - 10 今となっては良かったような気がする
 - 11 マイナスではなく、自分の幅を広げる一つのきっかけに過ぎない
 - 12 やむを得ないことだが、チャンスがあれば今からでも遅くないと思っている

- 13 良い意味でプラスの意味に考えていきたいと思っている
- 14 未練が残るものだと思う
- 15 ハッキリと捉えられてはいない
- 16 完全にしたわけではないと思っている
- 17 特別なものと考えてはなかった
- 18 非情に淋しく思うが、指導面で少しでも還元できればいいと思う
- 19 まだしていないと思っている
- 20 意外とあっさり受け止められた
- 21 試合に出ないことだと考えている
- 22 タイミングが良かったと思っている
- 23 あっけなく迎えた
- 24 残念だと思う
- 25 少し残念だと思う
- 26 後悔していない
- 27 それまでよりも下のレベルで続けること
- 28 良かったと思っている
- 29 出発点と考えている
- 30 今の生活に活かしている
- 31 新しい人生のスタートだと考えている
- 32 人生の一つの通過点でしかないと思っている
- 33 誰にでもあることと割り切っている
- 34 競技継続できるのであれば、先送りに出来ることだと思う
- 35 残念と思う
- 36 それまでの自分が死んで、新しい自分の誕生である
- 37 後悔している
- 38 人生の転機のひとつであり、それをきっかけにして人生を良いものへと向ける
- 39 とても満足している
- 40 したとは思っておらず、いつでも復帰する覚悟です
- 41 生活の全てが競技につながらなくなったとき
- 42 新たな出発と位置づけている
- 43 悔しく、また、むなしく感じた
- 44 自分の意志では決定していない
- 45 早く決断できたことが幸運であったように思う
- 46 特別なものだと思っていない
- 47 新たな生活へのスタートとして良い転機であったと思っている
- 48 肯定的に受け止めている
- 49 第二の人生であり、現役の体験を指導に役立てること
- 50 もう少し伸ばせばよかったのかもしれないと、やや後悔しているかもしれない
- 51 アマチュアにはないものだと思っている
- 52 淋しい気持ちもするが、新しい生活へのはじまりと受け止めている
- 53 仕方がなかったと思っている
- 54 良い転機だったと思っている
- 55 後悔しないものだと思っている
- 56 仕方がないものだと自分を納得させた
- 57 人生の大きな節目となった
- 58 人生における通過点であるが、最大の関心事はない
- 59 一つの通過点であると捉えている
- 60 新しい人生の始まりだと思った
- 61 いずれあることだと思っていた
- 62 新たなステップであると位置づけている
- 63 一つの通過点であると捉えている
- 64 当然のことと受け止めている
- 65 人間的に幅の広がる出来事と思っている
- 66 自然な人生の一部であると受け止めている

資料 9：元エリートアマチュアアスリートに対する面接のマニュアル

【面接マニュアル】

<面接前の説明>

その1：本調査は「元アスリートの競技引退に関する研究」の一貫として行われます。調査分析を目的としておりますので、お話しいただきました中の機密事項については絶対に公表されることはありません。

その2：会話の内容を詳しく分析したいと考えていますので、会話をテープに録音することを御承諾願いたいと思います。テープの内容は私以外の誰かが聞くことは絶対ありません。秘密は厳守いたします。率直にお話下さい。

その3：会話の最中に、疑問に思ったことや不都合がありましたら、御遠慮なくお申し付け下さい。

<面接後の説明>

その1：面接調査を振り返って、何かお気づきの点、ご意見などがありましたら、お聞かせ下さい。

その2：調査の目的上、再度、調査の御依頼をさせていただくこととなります。御迷惑をおかけしますが、どうぞ宜しくお願いします。

<謝礼の確認>

些少ではありますが、謝礼です。お納め下さい。

___年___月___日 場所_____氏名_____ 年齢___歳

専門種目_____競技継続年数 ___年___カ月 引退後経過年数 ___年___カ月

現在の所属・職業_____ 勤続年数 ___年___カ月

種目を始めたきっかけ

- ・いつ
- ・どのような出来事がきっかけで
- ・競技に対する魅力

●アイデンティティの保ち方

- ・アスリートとしての自分を強く感じ始めた時期とその具体的内容
- ・周囲の反応（家族や親しい仲にある友人、指導者などの支援）
- ・競技が生活に占める割合（具体的説明及びその内容）
- ・当時の選手像

●時間的展望

- ・引退へ向けての具体的なプラン
- ・将来の夢

●社会化予期

引退のきっかけとなった出来事に予期が認められるか否か。

- ・いつ頃
- ・具体的内容
- ・原因となる事象（予期ができたか否か）

●将来展望

- ・人生についての展望・人生設計など
- ・現実的な見通し、もしくは、今後取り組む仕事の内容など

●引退に対するイメージ

- ・引退に際しての悩み
- ・引退することの意味（アスリートではなくなることの当時の意味づけ）
- ・引退に対する考え方や態度の変化
- ・引退する決断を下した際の考え，率直な感想など（未練の有無）
- ・引退の決意が生活に及ぼした影響
- ・競技関係者や家族の反応

●役割受容

- ・引退後の仕事へ就いた経緯
- ・引退直後における生活の変化
- ・引退後のスポーツとの関わり

●引退後の生活への取り組み

- ・競技に代わる傾倒対象の有無
- ・現状における満足度

●支援的環境

- ・引退に直面した際，支援的な環境にあったか否か
- ・指導者やチームメイトなどの支援
- ・家族の支援
- ・親しい仲にある友人の支援

【Who am I テスト】

氏名 ()

<問> 次の例に従って、以下の文章を完成して下さい。

例) 私は (茨城県出身者) である。

1 : 私は () である。

2 : 私は () である。

3 : 私は () である。

4 : 私は () である。

5 : 私は () である。

6 : 私は () である。

7 : 私は () である。

8 : 私は () である。

9 : 私は () である。

10 : 私は () である。

資料10：元オリンピック選手に対する面接のマニュアル

【面接マニュアル】

＜面接前の説明＞

その1：本調査は「元アスリートの競技引退に関する研究」の一環として行われます。調査分析を目的としておりますので、お話しいただきました中の機密事項については絶対に公表されることはありません。

その2：会話の内容を詳しく分析したいと考えていますので、会話をテープに録音することを御承諾願いたいと思います。テープの内容は私以外の誰かが聞くことは絶対ありません。秘密は厳守いたします。率直にお話下さい。

その3：会話の最中に、疑問に思ったことや不都合がありましたら、御遠慮なくお申し付け下さい。

＜面接後の説明＞

その1：面接調査を振り返って、何かお気づきの点、ご意見などがありましたら、お聞かせ下さい。

その2：調査の目的上、再度、調査の御依頼をさせていただくこととなります。御迷惑をおかけしますが、どうぞ宜しくお願いします。

＜謝礼の確認＞

些少ではありますが、謝礼です。お納め下さい。

【フェイス・シート】

調査対象者氏名 (_____)

第1回 調査場所 (_____)
平成 () 年 () 月 () 日 () 時 () 分第2回 調査場所 (_____)
平成 () 年 () 月 () 日 () 時 () 分第3回 調査場所 (_____)
平成 () 年 () 月 () 日 () 時 () 分第4回 調査場所 (_____)
平成 () 年 () 月 () 日 () 時 () 分第5回 調査場所 (_____)
平成 () 年 () 月 () 日 () 時 () 分第6回 調査場所 (_____)
平成 () 年 () 月 () 日 () 時 () 分第7回 調査場所 (_____)
平成 () 年 () 月 () 日 () 時 () 分第8回 調査場所 (_____)
平成 () 年 () 月 () 日 () 時 () 分第9回 調査場所 (_____)
平成 () 年 () 月 () 日 () 時 () 分第10回 調査場所 (_____)
平成 () 年 () 月 () 日 () 時 () 分

年齢 () 歳 () 年 () 月 () 日 生まれ

競技継続年数 () 年 () ヶ月

引退後経過年数 () 年 () ヶ月

現在の所属 (_____)

勤続年数 () 年 () ヶ月

●競技を始めたきっかけ

・いつ

・どの様なきっかけで

・競技の魅力

1	競技者としてのアイデンティティ形成について	
---	-----------------------	--

- 1-1 小さい頃からの夢（憧れ）
- 1-2 選手としての自分（自己評価・他者評価）
- 1-3 競技が日常生活に占める割合（競技への専心度・生活スタイル）
- 1-4 オリンピックを目指そうとする選手としての意識の芽生え
- 1-5 競技以外に以外に考えていたこと、競技以外の取り組み、興味
関心
- 1-6 家族との関係、親しい中にある人、競技関係者の理解
（ソーシャルサポート）
- 1-7 将来の展望（競技に自己投入していた当時）・・・具体性
- 1-8 時間的展望：あと何年プレイするから、今何をすべきか？
- 1-9 特異な出来事（怪我、指導者との不和、結婚など）
- 1-10 その他

2	キャリア移行期の対処について	
---	----------------	--

- 2-1 キャリア移行のきっかけ（①移籍 ②引退）
- いつ頃
- 率直な感想
- 具体的内容
- 周囲の反応
- 原因（予期：あり・なし）

- 2-2 自分にとってのキャリア移行の意味合い (①移籍 ②引退)
(positive ・ neutral ・ negative) (周囲の反応)
- 2-3 キャリア移行を決断したときに考えたこと
(①移籍 ②引退) (周囲の反応)
- 2-4 キャリア移行後の準備 (①移籍 ②引退) (具体的対処)
- 2-5 家族との関係、親しい中にある人、競技関係者の理解
(ソーシャルサポート)

3	再適応期について	
---	----------	--

- 3-1 現在の所属についた経緯 (動機・悩み)
- 3-2 日常生活において変化したこと (影響)
- 3-3 現在の取り組み (移行前に比べて)
(positive ・ neutral ・ negative)
- 3-4 自己像 (自分の思う自分について) (周囲の反応)
- 3-5 移行前への未練
- 3-6 現状における満足度
 仕事 日常生活 自分自身

平成 年 月 日 曜日 氏名 ()

